

行政視察報告書

平成 29 年 11 月 17 日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 栗尾順三  議員 東川三郎 
 議員 森岡聡子  議員 大山盛久 
 議員 仁科文秀  議員 馬越裕正 

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】 兵庫 県 姫路市

住 所	姫路市西延末426-1
電 話	
視察案件	第12回 全国市議会議長会研究フォーラム
期 日	平成29年11月15日(水) 13時00分から16時50分 まで
応 対 者	
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	姫路市文化センター

概 要	<p>基調講演 中邨 章氏 「議会改革の実績と議会力の向上—政策創造の立法部を考える」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 変わる地方議会—議会基本条例の10年 2. 改革から政策創造へ—直面する課題=人口減少と地域振興 3. 地方議会のこれから—防災と政策創造/政策チェック 4. 地方議会の政策展望/エストニアから学ぶ <p>の、4つの論点を、聴講しました。</p> <p>1. 変わる地方議会—議会基本条例の10年について 北海道の栗山町議会で議会基本条例が制定されてから、10年が経とうとして います。いまでは、市議会の半分以上で、制定されています。議会基本条例は、</p>
-----	---

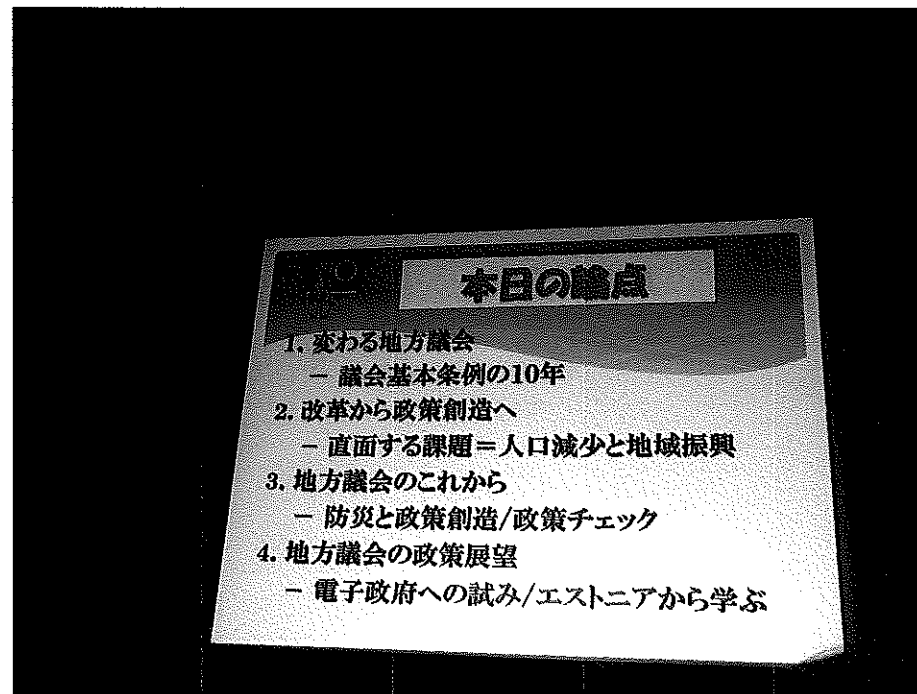
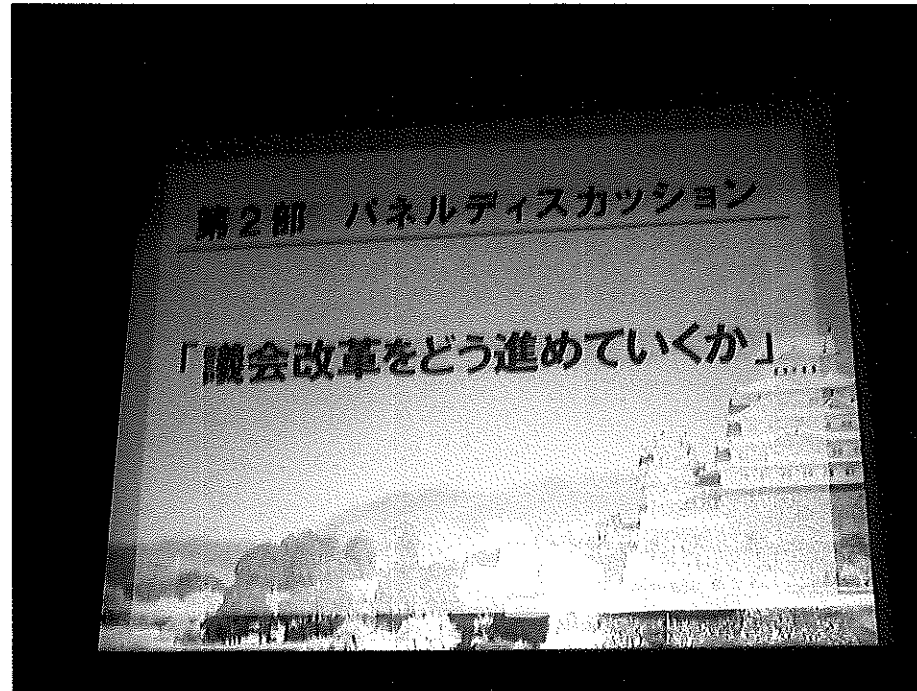
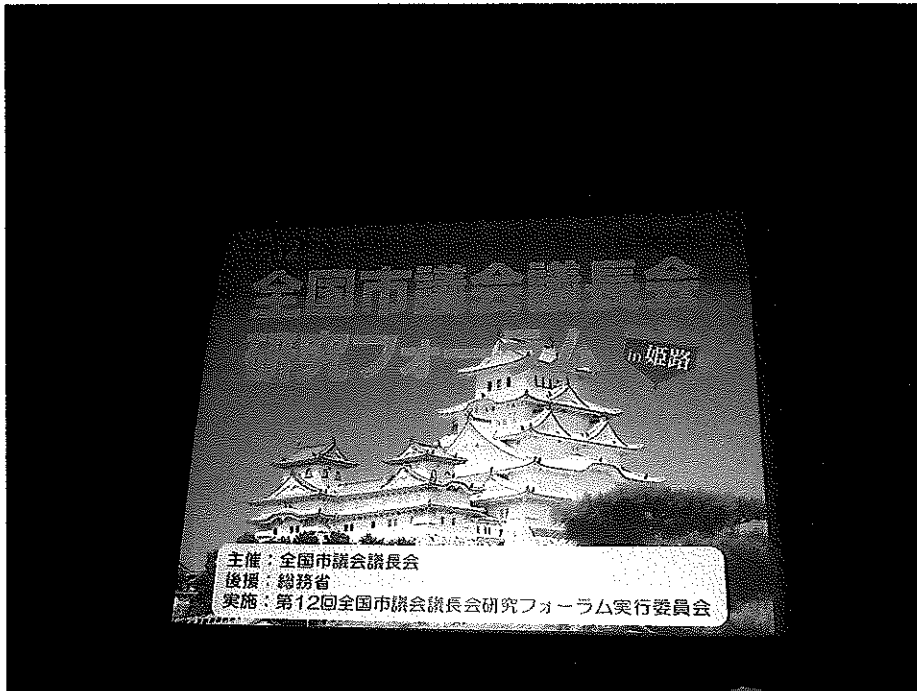
<p>概要</p>	<p>他の国にない試みであり、議会に関する意識、認識、知識が深化しています。反問権など、議会内組織の再検討がなされ、議会報告会など、議会活動が活性化されてきています。</p> <p>2、改革から政策創造へー直面する課題＝人口減少と地域振興 2010年の人口が1億2800万人だったのが、2030年には1億1600万人に減少するとのこと。又、2030年には、人口の3分の1が65歳以上で、高齢者人口が350万人と見込まれています。そのために、生産年齢人口が減少し、国内生産が低下する懸念があります。更には、2025年問題として、団塊世代（750万人）が75歳以上になって、5人に1人が75歳以上になります。そのような背景の中で、連携中枢都市構想が生まれました。持続可能な発展のためには、対応策として自治体単独では無理だが、合併はもう終わっており、協働と連携による行政体制の整備が必要であります。まずは、権限移譲とやりやすいところからスタートしています。連携中枢都市圏構想の問題点としては、議会の存在感がどこあるのか？地域おこし協力隊、地方創生交付金、定住自立圏などの政策が錯綜していることの問題など、潜在するタテ割り行政の弊害があります。</p> <p>3、地方議会のこれからー防災と政策創造/政策チェック 今までは、防災と議会は、ほとんど無関係だったが、これからは、議員としてではなくて、議会として動くことが市民から期待されています。そして、動く際には、議会として、目立つ服装をするべきであると考えます。議会は、防災業務に積極的に対応すべきであり、例えば、災害対策本部の運営など、業務継続計画の整備、指定避難所の整備、支援物資管理業務、などなど行政監視するべきであるとかんがえます。</p> <p>4、地方議会の政策展望/エストニアから学ぶ 地方議会の政策展望として、もっとデジタル化を検討すべきであり、国の動きより、先行して実践すべきであると考えます。</p>
<p>添付書類</p>	<p>視察資料 視察状況写真</p>

【2】 県 議会

住 所	
電 話	
視察案件	パネルディスカッション
期 日	平成29年11月15日(水) 14時40分から16時40分まで
応 対 者	
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	-----
概 要	<p>「議会改革をどう進めていくか」 コーディネーター 人羅 格 パネラー 大山 礼子 パネラー 金井 利之 パネラー 新川 達郎 パネラー 川西 忠信</p> <p>大山氏の主張の論点 ・議会の改革意欲は住民にあまり届いていない？ ・地方議会における選挙制度改革を考慮すべきであるが、議員の多様性は確保すべきである。 ・チェック機能の重要性が増している。 ・主権者教育を重視すべきである。</p> <p>金井氏の主張の論点 ・予算審議を徹底的に行うべきである。 ・予算こそが、議会の権力闘争の主戦場である。 ・総合計画で政策の方向性をしっかりと検討しないとダメである。 ・若者に対する教育をするべきである。</p> <p>新川氏 ・議員のなり手不足は政治教育不足である。 ・議員のなり手不足は政治訓練不足である。 ・議会改革では、住民参加を重視すべきである。</p> <p>川西氏 ・姫路市市議会の実践を報告。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真

【3】 県 議会

住 所	
電 話	
視察案件	課題討議
期 日	平成29年11月16日(木) 9時00分から11時00分まで
応 対 者	
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	-----
概 要	<p>コーディネーター 新川 達郎 事例報告者 目黒 章三郎 事例報告者 豊田 政典 事例報告者 盛 泰子</p> <p>目黒氏 会津若松市の事例発表 豊田氏 四日市市の事例発表 盛氏 伊万里市の事例発表</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真



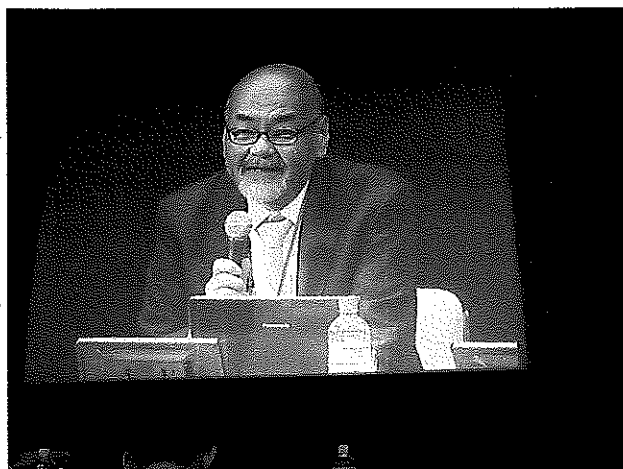
人
羅
氏



第1日目 (11月18日)
心社心社不社社/
「社会改革をすすめる会」

工-2019-9- 人羅 格氏
(毎日新聞 論説副委員長)

新
川
氏



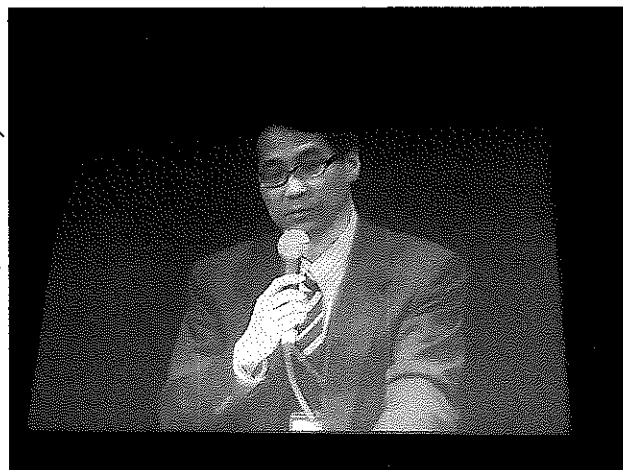
心社心社
新川 達郎氏
(同志社大学 教授)

川
西
氏



大山 礼子氏
(驹泽大学 教授)
金井 和之氏
(東京大学大学院 教授)

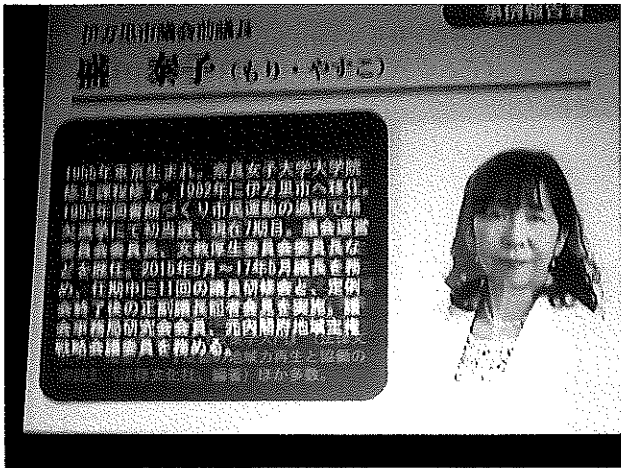
金
井
氏



大
山
氏



川西 忠信氏
(雄略市議会 議長)



第2回月(11月16日)
課題討議
「議会発着条例の二水と二水から」
考之介

コーディネーター 新川達郎氏
(同志社大教授)

事例報告者 目黒章三郎氏
(合済若松市議会 議長)

豊田政典氏
(四日市市議会 議長)

盛奈子氏
(伊万里市議会 前議長)

